

情報検索指導における良い例題・悪い例題 (中級編) - 専門分野別データベースの特徴を紹介する方法 -

仁上幸治 (早稲田大学図書館)

日時: 2006年11月22日(水)15:30-17:00 会場: パシフィコ横浜 図書館総合展フォーラム第6会場 対象者: 図書館職員、教職員、JLA 会員、関係団体、他 主催: 日本図書館協会 参加費: 会員 500 円 / 非会員 1000 円 申込先: cue@jla.or.jp 事務局担当久保木宛。氏名、氏名ヨミ、会員番号、所属、住所、電話番号、電子メールアドレス、例題づくりで困っている点、質問・要望など明記。 定員: 170 名(先着順) 締切: 11月15日(水) 詳細: 図書館利用教育委員会 <http://www.jla.or.jp/cue/>

指導サービス専門家に变身しよう!

書誌データベースや電子ジャーナルの存在を知らない、使い方がわからない、せっかく論文リストを入手したのに所蔵検索ができないという学生・院生が実に多い。その結果、ILL 複写取寄申込件数のうち、「当館所蔵あり」「電子ジャーナル全文閲覧可能」という差戻し回答の比率が上昇する。巨額なデータベース費の投資効率の低下は大学にとっては深刻な経営問題であり、学生・院生の文献調査能力の低下は教員にとっては教育指導の前提の崩壊である。

レファレンス担当者は業務の合理化・高度化を図るために、窓口での個別対応以外に、情報リテラシー教育関連科目やデータベース講習会、e ラーニング教材の充実など、情報検索の学習機会を増やし、理解度・習熟度を向上させる対策に立ち向かうほかない。

ところが、いざ教材コンテンツを作るとなると、購読契約条件の複雑さや大学や専門分野によるニーズの違い、利用者側の情報リテラシーレベルの差など、考慮すべき要素が多すぎて、適切な例題を用意することが非常に難しくなっている。しかし、複雑な仕組みをわかりやすく説明することこそが指導サービス専門職の存在理由である。前回の初級編「素材を集め問題を作り要点を説明する方法」に続き、今回は大学高学年・大学院生向けのデータベース講習会における例題の作り方を取り上げる。

初級編「フライデーナイトセミナー」(2005年5月27日(金):日本図書館協会)および「図書館利用教育実践セミナー」(2006年3月18日(土):キャンパスプラザ京都)改訂再演の2回実施。今回はその続編。

【初級編の案内】図書館による情報検索の講習会や授業の中で、わかりやすい説明をするには適切な例題が必要である。しかし、いざ実際に例題を作るとなるとそう簡単ではない。インターネットの検索エンジンで検索できる範囲、無料サイトと有料データベースの差、書誌検索と所蔵検索の違い、検索ツールの種類、電子化以前と以後、などの基礎知識を理解してもらうにはどんな例題が良いのか。どのサイトでどんな検索語と検索式を見せるのが適切か。今回は、これから講習会を始めたい方、改善したい方向けに、良い例題・悪い例題の実例を紹介し、素材の集め方からプレゼンテーションまで、実践上のポイントを提示する。

【1】初級編の復習

図書館利用教育実践セミナー第6回「情報検索指導における良い例題・悪い例題」2006年3月18日(土) キャンパスプラザ京都 アンケート結果: 「セミナーに参加して「大変良かった」という回答が全体の79%、「良かった」が20%、合計99%。「目からウロコ」「本当に来てよかった!!!」「これほど充実しているとは!」「とても楽しく密度が濃い」「最近参加したセミナーで最も有用な内容」「魅せられた」「視覚」の大切さを実感」「テンポが良くて楽しい」「知りたいことを次々に答えてもらえた」「も

とは取れた!」「中上級編もぜひ」「もっと関西で開催を」など。(『図書館雑誌』2005年7月号p.422-423を参照)

(1)表1. 例題の良し悪しの比較対照

#	項目	悪い例題	良い例題
1	間違っ自信	放置する	打ち砕く
2	学習意欲	低下させる	向上させる
3	紙版の扱い	根拠なく優先	守備範囲を明確に
4	電子版の扱い	便利さが曖昧	圧倒的な便利さを実感
5	提示方法	文字ばかり	映像・画像
6	データベースの紹介	便利さより面倒くささ	プリント版では不可能な利便性
7	ヒットするかしないか	すぐ「ない」と結論する	「必ずあるはず」という信念
8	検索語と検索式	思いついたものだけ	あれこれ工夫する
9	システムの不備	弱点として説明	乗り越える迂回路を提示
10	有力サイト	暗記を強要	たどり着き方を教える
11	正解の提示	一例だけ	複数の可能性も
12	起点	検索エンジン一本槍	ポータルサイト
13	検索語の入力	愚直にフルにタイピング	限定力のある語でジャストミート
14	オンライン書店比較	特徴を文章で説明	特徴の出る検索例で
15	検索結果と次の検索	一話完結	連続ワザ
16	ヒットしなかった場合の説明	ヒットしない例題を探す	仮定で進める
17	フレーズ検索	一応の差がわかる程度	圧倒的な限定力を見せる
18	ショートカットキー	説明しない	検索の流れの中で便利さを見せる
19	メモ帳	説明しない	コピーで保存して文献リストを作る素材にする
20	日本語論文検索ツール	雑誌記事索引(書誌のみ)	CiNii(抄録・全文リンクつき)
21	NACSIS Webcat	簡単にヒットするタイトル	よくあるのに難しい略誌名から
22	ジェンダー視点	無自覚ぶりを露呈	しかるべき人にチェックを頼む
23	品位	受け狙いが下品	適度に上品
24	理論的根拠	経験主義と思いつき	利用者教育の理論
25	オリエンテーション	旧態依然のイメージ	斬新なイメージ
26	講習会	効果不明	効果抜群

27	プレゼンテーション	配付資料主体	スライドショー主体
28	スライド	配付資料をそのまま貼り付け	読みやすさ優先
29	指示語	「これ」の連発(どれ?)	「この ボタン」と指示
30	文字色	モノクロ(または使いすぎ)	適度にカラフル
31	文字列	ベタ打ち	《 》などの記号を多用
32	図書館員の専門性	怪しい印象	プロの印象

(2) 例題改善のための 13 の提案

提案1:映像・画像を活用する

提案2:視線のコントロール

提案3:解けない例題の活用

提案4:教科書の例題を作り直す

提案5:電子情報源の便利さ訴求

提案6:ポータルサイトを教えよう

提案7:使いにくさを逆手にとって使いやすい例を対比的に

見せる

提案8:浅い問題を深く味わう解説を

提案9:身近な意外性のある問題に作り直す

提案10:自分が好きなテーマで例題を作る。

提案11:オリエンテーションと講習会を変える

提案12:ソースアプローチからプロセスアプローチに変提案

提案13:プレゼンテーションを改善する

(3) 例題は聞く人の気持ちで作る

1) 専門知識の噛み砕き力

2) わかりやすい説明の技術

3) 文字と画像の表現力

4) ビジュアル表現のセンス

5) 初心者の内面への想像力

(4) 今後の展望

1) 例題モニターネットワーク

2) 例題バンク

3) 図書館サービス計画研究所(トサケン)

【 2 】 中級編内容

【0】はじめに

- ・ ILL 申込書における差戻し統計
- ・ 盲導犬訓練の話
- ・ 上達の法則

【1】利用者はなぜ検索ができないか

- ・ 動機、知識・技能、態度
- ・ 失敗学
- ・ ハインリッヒの法則?

【2】データベース講習会の現場から

- ・大学の講習会の実演記録映像
- ・どの説明法を選ぶか？
- ・データベース解説の大学別比較

【3】図書館の説明はなぜ分かりにくいのか？

- ・分かりにくさの原因
- ・分かりやすさの条件
- ・正確さ、情報量、理解力

【4】求められる専門性

- ・要約力
- ・表現力
- ・説明力
- ・指導力

【5】4つの提案 - 情報リテラシー教育への貢献策

- ・データベースのシステム改良
- ・授業科目と講習会との統合
- ・司書課程の改革
- ・研修の改善

* 中級編（続）または上級編の予告（仮題）

- ・先行研究の網羅的調査
- ・先端研究者の特定
- ・論文の影響力評価、他

* 初級編（続）（仮題） ワークショップ形式

- ・講習会の企画と準備
- ・スライドショー作成実習
- ・プレゼンテーションの演習と相互評価、他

詳細は、利用教育委員会ホームページに近日掲載予定

【3】参考文献一覧

ガイドライン

- ・日本図書館協会利用教育委員会編 『図書館利用支援ガイドライン 図書館における情報リテラシー支援サービスのために（合冊版）』日本図書館協会、2001.8、 81p：¥1500

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会、2003.3.
教科書
- ・情報科学技術協会編『CD-ROM版情報検索の演習』日外アソシエーツ、1997
- ・高嶽裕樹『デジタル情報資源の検索 2005年版』(大阪教育大学) 2005
- ・緑川信之『新訂 情報検索演習』東京書籍、2004.
- ・三輪真木子『情報検索のスキル - 未知の問題をどう解くか』中央公論社、2003.9(中公新書 1714)
- ・毛利和弘『文献調査法』日本図書館協会発売 2004
- インターネット
- ・野口悠紀雄『インターネット超活用法 2001』講談社、2001、¥1400 .
- ・アリアドネ編『思考のためのインターネット 厳選サイト800』、筑摩書房、1999(ちくま新書)¥660
- ・二木麻里、中山元著『書くためのデジタル技法』筑摩書房、2001.11
- ・津野海太郎、二木麻里編『徹底活用「オンライン読書」の挑戦』晶文社、2000.8
- 情報リテラシー教育
- ・慶應義塾大学日吉メディアセンター 編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会、2002、¥1,200(本体)
- ・学習技術研究会編著『知へのステップ: 大学生からのスタディ・スキルズ』、くろしお出版、2002.4(CD-ROM付)
- ・実践女子大学図書館編『インターネットで文献探索 2004年度版』日本図書館協会、2004、¥1890.
- 論文作成
- ・中尾浩・伊藤直哉『Windows95版人文系論文作法』夏目書房、1998、¥2857.
- ・山内志朗『ざりざり合格への論文マニュアル』平凡社、2001.9
- ・澁谷恵宜『卒論応援団: はじめての「卒業論文」ラクラク基本マニュアル』クラブハウス、2000.7
- ・戸田山和久『論文の教室 レポートから卒論まで - 』NHK出版、2002.11、(NHKブックス 954) ¥1,120
- ・小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』講談社、2002.4(講談社現代新書、1603)
- ・野口悠紀雄『「超」文章法 - 伝えたいことをどう書くか』中央公論社、2002.10(中公新書、1662)
- プレゼンテーション
- ・石居進『理系のためのPowerPoint「超」入門 プレゼンテーションからホームページ作成まで』(ブルーバックスCD-ROM) 講談社、2003、¥1,995
- ・諏訪邦夫『発表の技法 計画の立て方からパソコン利用法まで』講談社、1995(ブルーバックスB-1099)、¥760 .
- ・中川佳子『「情報を見せる」技術』光文社新書、2003.7 ¥850.
- ・藤沢晃治『「分かりやすい表現」の技術 - 意図を正しく伝えるための16のルール - 』講談社、1999.3(ブルーバックス、B-1245)
- ・藤沢晃治『「分かりやすい説明」の技術 - 最強のプレゼンテーション15のルール - 』講談社、2002.10(ブルーバックス、B-1387)
- ・ボブ・ポイルン『プレゼンテーション成功の秘訣13』TBSブリタニカ、1993. ¥1300 .
- 情報探索論
- ・岡澤和世: 情報行動研究のコンテキスト JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE Vol.16, p27-52 (2002)
- ・岡澤和世: 情報ニーズの評価の必要性和問題点: DttNicholas の論文を中心に JOURNAL OF LIBRARY AND INFORMATION SCIENCE Vol 12, p43-65(1998)
- ・北原俊一、安達一寿「自習型Web教材および簡易学習支援システムの開発」, 社会情報論叢(十文字学園女子大学研究紀要), Vol.7 2003), P.1~10

- ・河野浩之 [ほか]著『情報検索とエージェント：インターネットの知的情報技術』東京電機大学出版局，2002.3
- ・中村幸雄『情報検索理論の基礎 批判と再検討』改訂増補版，共立出版，1998
- ・福永智子「講演 図書館利用教育研究における学習心理学的観点：クールソを中心に」『館灯』41，2003，p.1-6.
- ・渡辺智山：情報探索過程を踏まえた検索システムの開発へ向けて レファレンス・ブックを利用した探索過程の調査 情報の科学と技術 52(3)、107-115 (2002)
- ・D.A. ノーマン、野島久雄訳『誰のためのデザイン？ - 認知科学者のデザイン原論 - 』新曜社、3300円
- ・R.S. ワーマン『それは「情報」ではない。』MdN,2001.
- ・R.S. ワーマン『理解の秘密 マジカル・インストラクション』NTT出版,1993.
- ・R.S. ワーマン『情報選択の時代』日本実業出版社,1990. / 『東京アクセス』伊藤忠ファッションシステム,1984.
- Google
- ・安藤進『Googleに聞け！英語の疑問を瞬時に解決』丸善 2004.04、¥1,470
- ・ケイズプロダクション『Googleの秘密』ソフトマジック、2003.11、¥1,680
- ・タラ・カリシェイン；ラエル・ド・ンフェスト『Googleポケットガイド』オライリ・ジャパン(オム社)2003.10、¥1,260
- ・タラ・カリシェイン；ラエル・ド・ンフェスト『Google hacks - プロが使うテクニック&ツール100選 - 』オライリ・ジャパン(オム社)、2003.08、¥3,045
- ・津田大介『ググる - 検索エンジンGoogleを使ってネット上の情報を検索すること - 』毎日コミュニケーションズ、2004.04、¥1,344
- ・水野貴明『Web検索エンジンGoogleの謎 - 知りたいページが必ず上位にランクされるのは、なぜ? - 』ソテック社、2004.04、¥1,869
- ・山名早人「見たいサイトが一発で出てくる検索エンジンの仕組みとは」『INTERNET magazine』2004年1月号(特集：Google徹底解剖)、pp.88-91
- ・『情報の科学と技術』2004年2月号(特集：インターネット検索エンジン)調べ方
- ・井上真琴『図書館に訊け!』筑摩書店,2004。(ちくま新書) ¥777
- ・田中共子『図書館へ行こう』岩波書店,2003。(岩波ジュニア新書) ¥777 他多数あり。
- パスファインダ
- ・愛知淑徳大学図書館インターネット情報資源担当編『パスファインダー・LCSH・メタデータの理解と実践：図書館員のための主題検索ツール作成ガイド』愛知淑徳大学図書館、発売：紀伊国屋書店,2005.2
- ・石狩管内高等学校図書館司書業務担当者研究会『パスファインダーを作ろう：情報を探す道しるべ』全国学校図書館協議会、2005(学校図書館入門シリーズ12) 840円
- ・鹿島みづき、山口純代「図書館パスファインダーに見る次世代図書館の可能性」『情報の科学と技術』52(10)、526-537 (2002)
- ・鹿島みづき、山口純代「図書館パスファインダー - 次世代図書館に生かせる古くて新しい図書館の技術」『館灯』42、2003、p35-46.
- ・河上純子、仲尾正司、仁上幸治 他「パスファインダーバンクの実用化に向けて - Web版共同利用ナビゲーションシステム開発計画案」(私立大学図書館協会東地区部会館長会・研究講演会、研究分科会報告大会記録2001年度『私立大学図書館協会会報』(通号118)[2002.11])
- ・仲尾正司、中村亜日香、山田おかり、他「パスファインダーバンク実用化とその経緯 - Web版共同利用ツールシステム

を立ち上げて」『私立大学図書館協会会報』122, 2004.8, p147-151.

- ・仁上幸治「電子パスファインダをどう作るか 情報探索支援ツールの企画から公開まで」『短期大学図書館研究』25, 2005.3, p.59-70.
- ・村田輝 他「教育情報案内パスファインダーによるレファレンスサービスの Web への展開 -東京学芸大学附属図書館における教育情報ポータルサイト"E-TOPIA"」(国際学術コミュニケーション特集)『大学図書館研究』(67) [2003.3] p.37-49.

講習会

- ・梅原 由紀子「都立中央図書館の利用教育サービス -OPAC 検索講習会と図書館活用講座を実施して」(特集 図書館のホームページ) みんなの図書館. (通号 299) [2002.3] 56~65
- ・菅谷明子『未来をつくる図書館 ニューヨークからの報告』岩波書店,2003.(新赤版 837)
- ・米澤 誠 ; 阪脇 孝子 ; 高橋 菜穂子「情報探索マニュアルの作成と職員向け講習会の実施:東北大学附属図書館での事例報告」大学図書館研究. (69) [2003.12] 34~41

指導法

- ・藤沢晃治『「わかりやすい表現」の技術』講談社、1999. ¥800.(講談社ブルーバックス B-1245)
- ・藤沢晃治『図解「伝える」技術ルール10 話して伝える、書いて伝える、図表で伝える』講談社、2006.10
- ・岩永嘉弘『一行力』草思社、2004.4
- ・多和田悟『犬と話をつけるには - 駄目な犬の困った飼い主にならないために』文藝春秋、2006.6、(文春新書)
- ・岡本浩一『上達の法則 効率のよい努力を科学する』PHP 研究所、2002.5 (PHP 新書) ¥714
- ・吉田新一郎『効果 10 倍の「教える」技術: 授業から企業研修まで』PHP 研究所,2006 (PHP 新書)
- ・畑村洋太郎『「失敗学」事件簿 あの失敗から何を学ぶか』小学館、2006.4、¥1300
- ・ブルボン小林『ぐっとくる題名』中央公論新社、2006.9 (中公新書)

【4】参考サイト一覧

【1】3大ポータルサイト

- 1) 野口悠紀雄オンライン: <http://www.noguchi.co.jp/>
- 2) アリアドネ: <http://ariadne.ne.jp/>
- 3) 実践女子大学図書館リンク集: <http://www.jissen.ac.jp/library/>

【2】Google 関連サイト

- 1) 実験室: Google のプロトタイプ: <http://labs.google.com/>
- 2) soople: Google 専用コマンド不要の検索フォーム: <http://www.soople.com/>
換算電卓機能: http://www.soople.com/soople_intcalchome.php
- 3) Google Hacks: Google メニュー検索: <http://dicwizard.jp/jamming/search.php>
- 4) GAPS: Google API Proximity Search: 近接検索
<http://www.staggernation.com/cgi-bin/gaps.cgi>
- 5) Google 関連メーリングリスト)
 - ・ Google Friends: <http://www.google.com/contact/newsletter.html>
 - ・ googlefun: <http://www.freeml.com/ctrl/html/JoinForm/googlefun@freeml.com>

【3】検索サイトの最新情報

- 1) SEM リサーチ: 検索エンジンの最新情報ポータルサイト
<http://www.sem-research.jp/sem/>
- 2) Search Engine Showdown: 検索エンジンの最新ニュースと比較データ
<http://searchengineshowdown.com>

3)検索エンジンの検索： 世界中の検索エンジンを探す検索エンジン

<http://www.searchenginecolossus.com/>

4)shikencho.com 検索の鉄人 関裕司氏の「検索テクニック」

<http://www.shikencho.com/iron/irontext.php>

【4】Google 以外の主要な検索サイト

1)AlltheWeb: <http://www.alltheweb.com/>

ノルウェーの Fast 社開発

2)AltaVista: <http://www.altavista.com/>

1995 年 12 月登場のロボット型検索エンジンの老舗。1999 年から画像検索の老舗。

3)AAACafe: <http://aaacafe.ne.jp>

部分文字列検索が可能な「N グラム」方式

【5】パスファインダ

・私立大学図書館協会企画広報研究分科会パスファインダーバンク: <http://www.jaspul.org/e-kenkyu/kikaku/pfb/>

・E-TOPIA(東京学芸大学附属図書館)教育系電子情報ナビゲーションシステム:

http://library.u-gakugei.ac.jp/etopia/index_p.html

・愛知淑徳大学図書館パスファインダー: http://www2.aasa.ac.jp/org/lib/j/netresource_j/pf_j.html

・Dublin Core Metadata Initiative (DCMI): <http://dublincore.org/>

・統計データポータルサイト <http://portal.stat.go.jp/>

・情報科学技術協会: <http://www.infosta.or.jp/>

・電子政府の総合窓口: <http://www.e-gov.go.jp/>

【6】教材サイト

・TOSS インターネットランド: <http://www.tos-land.net/index2.php>

・世界の指導案: <http://jcultra.cc.osaka-kyoiku.ac.jp/LPIW/>

・教育情報ナショナルセンター: <http://www.nicer.go.jp/>

・EDUREF: <http://www.eduref.org/>

・Library Explorer: <http://explorer.lib.uiowa.edu/>

・Internet Public Library: <http://www.ipl.org/>

University of Michigan School of Information. >> Pathfinders

・WARP (Web Archiving Project): 国会図書館インターネット資源選択的蓄積実験事業:

<http://warp.ndl.go.jp/>

【7】教育用データベース提供

・データベース振興センター『情報の検索と活用』第2版,2005.3. <http://www.dpc.or.jp/>

授業・講習会用ソフトの複数貸与等のサービスあり。

【8】画像ネタの宝庫

・American Library Association [internet]. <http://www.ala.org/> [accessed 2005.5.23]

【9】使えるフリーソフト

・プレゼンテーションソフト「Impress」を含む統合オフィスソフト「OpenOffice」 Sun Microsystems Inc.:

<http://www.openoffice.org/>

・PDF 形式変換ソフト「クセロ PDF」:(株)クセロ: <http://xelo.jp/xelopdf/>

【5】講師紹介 (最近の活動から)

仁上幸治 (にかみ・こうじ): 早稲田大学図書館司書 / 東京家政大学・桜美林大学・亜細亜大学司書講習非常勤講師

ホームページ: <http://wwwc.dcn.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/>

電子メール: nikamik23@gmail.com

論文(単著)

・「コンビニに負けない生涯学習支援サービスを! - 市民の情報リテラシーと社会教育 -」 『月刊社会教育』2000.10, pp.22-27.

・「図書館マ - ケティングとプランニング・プロセス論 経営革新をめざす『実行可能な方法』の開発と導入 -」 『専

門図書館』 no.192, 2001.3, pp.8-18.

- ・「軽いノリと少しの勇氣 利用者満足度調査は自信と希望の証 - 」『図書館雑誌』2002.11, pp.872-875.
- ・「情報リテラシー教育と新しい図書館員像 - 『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで」『館灯』41, 2003.3, p.39-52. (同誌ホームページ掲載)
- ・「司書課程の社会的評価の向上を目指す切り札 - 情報検索演習における「受講生による授業評価」の集計結果報告 - 」『法政大学教職資格課程年報』(法政大学キャリアデザイン学部紀要別冊) vol.1, 2003年度、2004.3.30、pp.66-76.
- ・「これは危機ではない? - 困った利用者よりずっと困った問題群 - 」『図書館雑誌』98(11)[2004.11], pp.838-841.
- ・「総本山の進まない構造改革 - 専門職崩壊のデフレスパイラル - 」『大学の図書館』24(2), 2005.2. (特集大学図書館と日本図書館協会) pp.28-31.
- ・「オリエンはエンタメだ! - 素敵な印象を伝えるプレゼンテーションを - 」『学図研ニュース』No.229, 2005.3.1 (特集オリエンテーション) pp.2-5.
- ・「大学図書館員のためのオリエンテーション技法 - 印象づけを重視した構成・演出の改善の試み - 」『医学図書館』52(1), 2005.3 (特集: 情報リテラシー・サービス) pp.15-24.
- ・「学術情報リテラシー教育における広報イメージ戦略 - 司書職の専門性をどう訴求するか - 」『情報の科学と技術』55(7), 2005.7, (特集: 図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?) pp.310-317.
- ・「電子パスファインダをどう作るか 情報探索支援ツールの企画から公開まで - 」『短期大学図書館研究』25, 2006.3, pp.59-70.

単行書(共著)

- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ガイドライン(合冊版)』日本図書館協会、2001.8
- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部企画広報研究分科会編『図書館広報実践ハンドブック - 広報戦略の全面展開を目指して - 』日本図書館協会発売、2002.9
- ・戸田光昭[他]共著『改訂専門資料論』樹村房、2002.10(新図書館学シリーズ第8巻)
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』日本図書館協会、2003.3
- ・三浦逸雄, 野末俊比古(共編著)『専門資料論』日本図書館協会、2005.6(菅野育子, 高橋昇, 仁上幸治共著)(JLA図書館情報学テキストシリーズ, 8)

講演

- ・東京女性財団「女性問題トレーナー養成講座」女性センター職員編: 講義「広報活動をどう活性化するか 効果的な情報発信のために」; 演習「すぐできる紙面改善 読ませる見出し・レイアウト入門」2000.12.東京ウイメンズプラザ
- ・神奈川県女性行政推進者養成研修講座: 講義「視線のコントロール 快感と興味への意図的な訴求」; 演習「すぐできるチラシづくり 惹きつける見出し・レイアウト入門」2001.2.神奈川県女性センター
- ・大学図書館研究集会: 発表「ホームページ上に「万能道具箱」を! - 情報リテラシー支援装置としての上部団体の役割 - 」2001.9.一橋大学
- ・越谷市男女共同参画支援センター「情報活用ステップアップ講座 - IT講習から一歩前進 - 」: ワークショップ: 講演「チラシ・ニューズレターの効果的な発信 - 読ませる見出し・レイアウト - 効果的な情報発信のしかた」2001.9.同センター
- ・ブレインテックユーザー研究会: 講演「情報リテラシー支援による図書館のイメージ革新 - 利用者の自立が図書館員の専門性を高める - 」2001.10.虎ノ門パストラル
- ・私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会相互協力実務担当者研修会「情報リテラシー教育と新しい図書館員像 - 『新・図書館の達人』から『図書館利用教育ガイドライン』まで - 」2002.8.1.中京大学
- ・看護図書館協議会利用教育研究グループワークショップ「誰でもすぐできるパスファインダー作成法 - 日常業務の中で手軽に作るための6つの極意 - 」2002.8.3.日本医科大学図書館
- ・北海道地区私立大学図書館協議会業務研究会「教育支援サービスと新しい図書館員像 - 『図書館利用教育ハンドブック』が描く指導専門職 - 」2003.7.18.札幌大学
- ・群馬県大学図書館協議会大学図書館研究会「広報イメージ戦略と新しい図書館員像 - 専門的指導サービスをどう印象づけるか - 」2003.9.26.高崎商科大学

- ・図書館総合展フォーラム「図書館員のための指導サービス実践講座 - 新しい専門性を印象づけるプレゼンテーション事例 - 」2003.11.4、東京国際フォーラム
- ・日本図書館協会フライデーナイトセミナー第一回「図書館員のための指導サービス実践講座【パート 2】 - プレゼンテーションの実演と討論 - 」2004.2.20、日本図書館協会
- ・鶴見大学 T.U.L.A (Tsurumi University Librarians Association) 研修会：講演「図書館員のための利用指導サービスのポイント - プレゼンテーションの実演と討論 - 」2004.7.10、鶴見大学図書館
- ・東北地区図書館協議会合同研修会：基調講演「利用指導サービスと広報戦略 - 専門性を訴求する取り組みのポイント - 」2004.7.30、岩手大学情報メディアセンター図書館
- ・私立短期大学図書館協議会全国研修会：講義と演習「指導サービスの組織化と指導プログラム・教材の作成」2004.8.26 -27、北海道武蔵女子短期大学
- ・群馬県大学図書館協議会 大学図書館研究会：講演「パスファインダー超簡単作成法 - 日常業務の中で作るための7つのステップ - 」2004.9.8、放送大学群馬学習センター
- ・埼玉高校図書館研究会司書部会研究集会：講演「情報メディアの活用をどう支援するか - 学校図書館司書による指導サービスのポイント」 2004.11.24、さいたま文学館（桶川市）
- ・NII 学術情報リテラシー教育担当者研修：講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」2005.1.20、大阪大学；1.28、NII
- ・JLA 利用教育委員会フライデーナイトセミナー第 5 回：講演「情報検索指導における良い例題・悪い例題（初級編）～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」2005.5.27 日本図書館協会
- ・はんのう学校図書館まつり特別講義「図書館で情報の世界への窓を開ける ポスターからパスファインダーまで」 2005.10.10、駿河台大学
- ・NII 学術情報リテラシー教育担当者研修：講演「学術情報リテラシー教育における広報戦略」2005.11.1、NII；11.17、大阪大学
- ・医学図書館研究会・継続教育コース：講演「新しいオリエンテーション技法 利用者をひきつける構成と演出」2005.11.15、東京歯科大学
- ・近畿地区医図協・薬図協・病図協共催シンポジウム：講演「利用者教育におけるプレゼンテーションの実際」2005.11.17、大阪大学（生命）
- ・文部科学省東海北陸地区図書館地区別研修：講演と演習「情報活用支援サービスの最新技法」2005.12.7、福井県立図書館
- ・2006.03.18 JLA 利用教育委員会図書館利用教育実践セミナー「情報検索指導における良い例題・悪い例題（初級編）～素材を集め問題を作り要点を説明する方法～」キャンパスプラザ京都
- ・2006.10.06 北海道大学附属図書館講演会「図書館広報戦略の新段階 - 外部委託できない専門性の核をどう訴求するか - 」北海道大学附属図書館大会議室
- ・2006.10.14 紀伊國屋書店・日本アスペクトコア 業務スタッフ研修「図書館広報革命 - 第一印象はオリエンテーションで決まる - 」紀伊國屋書店本社会議室
- ・2006.11.16 兵庫県大学図書館協議会「図書館広報を再設計する - 専門職として生き残るための5つの特効薬 - 」兵庫県立大学 神戸キャンパス 23 階大講義室

教材ツール開発(企画・監修)

- ・私立大学図書館協会企画広報研究分科会：共同制作ポスター・栞・掲示用紙・ブックカバー、1984-
- ・日本図書館協会：頒布ポスター・栞・掲示用紙「コニーちゃん」シリーズ、1998-99
- ・日本図書館協会図書館利用教育委員会：「りてらしい」グッズ(T シャツ、トレーナー、キャップ、バッグ、ブックカバー、エプロン)2000-
- ・ライブラリービデオシリーズ『図書館の達人』全6巻、紀伊國屋書店、1992.10、1993.7.
- ・ライブラリービデオシリーズ『新図書館の達人』全6巻、紀伊國屋書店、1998.3、2002.11.
『情報の達人』DVD 版ビデオ・スライド・テキストパッケージ全3巻 + テキスト、紀伊國屋書店、2006.12(刊行予定)

図書館サービス計画研究所(略称「トサケン」)

<http://wwc.dcn.ne.jp/~bbutler/~nikami-home/tosaken/>

以上

(図書館総合展フォーラム講演 第 8 回 配付資料 / 2006.11.20 作成 / 事後修正版 11.26)